



1月 誕生会



…茶話会開催し 抹茶を点てて 団樂…

施設サービス課 三輪 久美子

新年 明けまして おめでとうございます。

昨年暮れより 巷では インフルエンザや新型コロナ感染症が大流行。施設に於いても 毎日 万全の感染症予防対策を遵守・配慮しながら勤務。その甲斐があつて、風邪症状の方はいたものの、特に重篤な感染症に至らず安堵しております。何より入所者が健康で年を越せたことにスタッフは喜びを隠せませんでした。

新年を迎え、健康で過ごして頂きたい 日本のお伝統行事である邪気を祓う「七草粥」について話させてもらいます。わが国には 中国から平安時代初期に伝わり 七草(セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ)を使うようになったのは鎌倉時代といわれています。年始に無病息災を願う精神的な意味合いとおせち料理等を通して疲れた胃腸を休める身体的な配慮があります。草花にそれぞれ意味があるのは知っていますか？セリは食欲増進・ナズナは解毒作用・ゴギョウは咳や喉の痛みを和らげる・ハコベラは腹痛の緩和・ホトケノザは胃腸の働きを助ける・スズナは消化促進・スズシロは消化を助ける等々です。飲んだり食べたりする事の多い時期に疲れた胃腸をいたわり、不足しているビタミンを補う働きがあるそうです。

4日に誕生会を開催。新年を迎え琴の音のBGMを聞きながら『初釜』を行い、茶抹を点てて味わっていただきました。お点前の経験のある職員3名が中心となって抹茶を点ててもらい、和菓子の代わりにショートケーキを出しました。「いっぶく差し上げます」と“御薄”をお出しすると、利用者は礼儀正しく「いただきます」と挨拶。飲み終わり「結構なお手前で・・・」と一礼。「やっぱり 普通のお茶と違って味わいがあり、美味しいわぁ」とか「まるやかな甘みがあるよね」と存分に御薄を味わわれました。昔にお茶を習ったことがある方がおられ、抹茶を点ててもらいました。やはり 昔取った杵柄で 上手にお点前の作法に感心しました。「今でも躰が覚えているわぁ」「懐かしいわぁ」等 和気藹々と話も弾み、笑いが耐えない茶話会となり、楽しい午後の時間がゆっくりと流れていきました。

